

平成29年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月31日

上場会社名 ナトコ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4627 URL http://www.natoco.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 粕谷健次
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長・生産企画部長 (氏名) 山本豊 TEL 0561-32-2285
 四半期報告書提出予定日 平成29年9月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年10月期第3四半期の連結業績（平成28年11月1日～平成29年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年10月期第3四半期	11,536	5.0	1,024	24.2	1,114	75.7	722	119.3
28年10月期第3四半期	10,981	△0.5	824	23.3	634	△23.2	329	△23.9

(注) 包括利益 29年10月期第3四半期 910百万円 (-%) 28年10月期第3四半期 16百万円 (△97.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年10月期第3四半期	95.84	—
28年10月期第3四半期	43.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年10月期第3四半期	21,270	16,712	78.6
28年10月期	20,456	15,998	78.2

(参考) 自己資本 29年10月期第3四半期 16,712百万円 28年10月期 15,998百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年10月期	—	12.00	—	14.00	26.00
29年10月期	—	12.00	—	—	—
29年10月期(予想)	—	—	—	14.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年10月期の連結業績予想（平成28年11月1日～平成29年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,400	3.7	1,230	3.6	1,250	26.5	800	33.6	106.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年10月期3Q	8,144,400株	28年10月期	8,144,400株
② 期末自己株式数	29年10月期3Q	600,920株	28年10月期	600,920株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年10月期3Q	7,543,480株	28年10月期3Q	7,543,480株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では景気拡大の動きが持続し、アジアでも中国を中心に持ち直しの動きがみられましたが、米国の政治リスクの高まりなど先行きが不透明な状況でありました。

一方、わが国経済におきましては、企業の設備投資の拡大や個人消費の回復もあり、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは独自性のある高機能性製品や環境対応型製品の開発に加え、業務全般の効率化や生産性の向上によるコスト削減に努めるとともに、引き続き販路拡大に向け国内外で営業活動を推進してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は11,536百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益は1,024百万円（前年同期比24.2%増）となりました。また、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、在外連結子会社に対する外貨建貸付金の為替差益の計上により、経常利益1,114百万円（前年同期比75.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益722百万円（前年同期比119.3%増）となりました。

セグメント業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分変更を行っており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細は「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）セグメント情報」の「II 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載しております。

①塗料事業

金属用塗料分野では、ユーザーの環境意識の高まりにより環境対応型製品が堅調であったこと、開発を進めてきた新製品が採用されつつあることから売上高は前年同期に比べ増加いたしました。また、外装建材用塗料分野では、大手ユーザーへの出荷量が伸びたことに加え、金属建材向けの受注が増加したことで売上高は前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、塗料事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は7,574百万円（前年同期比3.4%増）、セグメント利益は1,083百万円（前年同期比26.3%増）となりました。

②ファインケミカル事業

電子材料向けコーティング剤が堅調に推移し、加えて中国で情報端末向け製品が新規案件に採用されたことにより売上高は前年同期に比べ大きく増加いたしました。

この結果、ファインケミカル事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は1,126百万円（前年同期比22.9%増）、セグメント利益は110百万円（前年同期比192.8%増）となりました。

③シンナー事業

一部大手ユーザーで生産拠点の海外移転による受注減があったものの、積極的な営業展開で新規ユーザーを獲得した結果、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、シンナー事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は2,834百万円（前年同期比3.5%増）、セグメント利益は237百万円（前年同期比23.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は14,081百万円となり、前連結会計年度末に比べ368百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が523百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が283百万円、有価証券が700百万円増加したことによるものであります。固定資産は7,188百万円となり、前連結会計年度末に比べ445百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が302百万円、投資有価証券が147百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は21,270百万円となり、前連結会計年度末に比べ814百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,791百万円となり、前連結会計年度末に比べ47百万円増加いたしました。これは主に賞与引当金が108百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が159百万円増加したことによるものであります。固定負債は766百万円となり、前連結会計年度末に比べ52百万円増加いたしました。これは主に繰延税金負債が46百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は4,557百万円となり、前連結会計年度末に比べ100百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の合計は16,712百万円となり、前連結会計年度末に比べ714百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益を722百万円計上した一方で、配当金の支払196百万円があったこと、その他有価証券評価差額金が103百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は78.6%(前連結会計年度末は78.2%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年10月期の連結業績予想につきましては、平成28年12月14日に公表いたしました「平成28年10月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,498,062	5,974,175
受取手形及び売掛金	4,521,473	4,805,321
電子記録債権	241,816	246,860
有価証券	200,000	900,000
商品及び製品	865,277	966,920
仕掛品	33,965	37,726
原材料及び貯蔵品	429,361	484,562
繰延税金資産	107,099	67,458
その他	821,040	603,749
貸倒引当金	△4,664	△4,884
流動資産合計	13,713,432	14,081,889
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,568,561	2,838,337
機械装置及び運搬具(純額)	949,871	1,518,694
土地	1,737,249	1,737,249
その他(純額)	671,343	134,762
有形固定資産合計	5,927,026	6,229,044
無形固定資産	197,054	191,166
投資その他の資産		
投資有価証券	446,844	594,184
繰延税金資産	23,947	23,557
その他	149,055	151,443
貸倒引当金	△1,208	△1,026
投資その他の資産合計	618,638	768,159
固定資産合計	6,742,719	7,188,371
資産合計	20,456,152	21,270,261
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,584,101	2,743,468
未払法人税等	159,384	155,364
繰延税金負債	430	—
賞与引当金	242,660	134,161
役員賞与引当金	34,630	25,750
その他	723,342	732,950
流動負債合計	3,744,548	3,791,695
固定負債		
繰延税金負債	58,413	104,901
役員退職慰労引当金	281,569	275,508
退職給付に係る負債	191,645	186,786
その他	181,601	198,993
固定負債合計	713,229	766,190
負債合計	4,457,777	4,557,885

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,626,340	1,626,340
資本剰余金	3,316,538	3,316,538
利益剰余金	11,027,213	11,554,028
自己株式	△516,252	△516,252
株主資本合計	15,453,839	15,980,654
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	177,603	281,316
為替換算調整勘定	398,607	477,185
退職給付に係る調整累計額	△31,675	△26,781
その他の包括利益累計額合計	544,535	731,720
非支配株主持分	—	—
純資産合計	15,998,374	16,712,375
負債純資産合計	20,456,152	21,270,261

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年7月31日)
売上高	10,981,602	11,536,012
売上原価	8,254,203	8,560,399
売上総利益	2,727,399	2,975,613
販売費及び一般管理費	1,902,706	1,951,547
営業利益	824,692	1,024,065
営業外収益		
受取利息	2,827	2,097
受取配当金	9,179	11,477
貸倒引当金戻入額	1,251	—
為替差益	—	62,322
その他	17,726	25,566
営業外収益合計	30,985	101,463
営業外費用		
支払利息	15	13
売上割引	7,978	8,203
為替差損	205,544	—
その他	7,888	2,830
営業外費用合計	221,426	11,047
経常利益	634,251	1,114,482
特別利益		
固定資産売却益	4,649	1,568
投資有価証券売却益	—	772
補助金収入	18,874	21,024
特別利益合計	23,524	23,366
特別損失		
固定資産処分損	6,694	7,444
固定資産圧縮損	18,037	20,767
特別損失合計	24,732	28,212
税金等調整前四半期純利益	633,042	1,109,636
法人税、住民税及び事業税	225,850	344,826
法人税等調整額	77,586	41,864
法人税等合計	303,436	386,691
四半期純利益	329,606	722,945
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	329,606	722,945

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年11月1日 至 平成28年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年11月1日 至 平成29年7月31日)
四半期純利益	329,606	722,945
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,875	103,713
為替換算調整勘定	△310,640	78,578
退職給付に係る調整額	1,053	4,893
その他の包括利益合計	△313,462	187,185
四半期包括利益	16,143	910,131
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,143	910,131
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年11月1日至平成28年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	塗料事業	ファインケ ミカル事業	シンナー事 業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	7,327,094	917,209	2,737,298	10,981,602	—	10,981,602
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,065	1,302	157,441	160,809	△160,809	—
計	7,329,159	918,512	2,894,740	11,142,412	△160,809	10,981,602
セグメント利益	857,901	37,859	310,513	1,206,275	△381,582	824,692

(注) 1. セグメント利益の調整額△381,582千円は、セグメント間取引消去19,420千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△401,003千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年11月1日至平成29年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	塗料事業	ファインケ ミカル事業	シンナー事 業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	7,574,842	1,126,795	2,834,375	11,536,012	—	11,536,012
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	30,960	3,329	166,820	201,111	△201,111	—
計	7,605,803	1,130,124	3,001,195	11,737,123	△201,111	11,536,012
セグメント利益	1,083,749	110,838	237,342	1,431,930	△407,864	1,024,065

(注) 1. セグメント利益の調整額△407,864千円は、セグメント間取引消去22,763千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△430,627千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、「塗料事業」に含めておりました樹脂素材分野を「ファインケミカル事業」に含めるよう変更しております。

これは、当社グループの事業展開、経営管理体制の実態等の観点からセグメントについて再考した結果、取扱製品の特性が類似する「ファインケミカル事業」に含めるのが適切であると判断したことによるものであります。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。